

民主青年新聞

●ホームページ www.dylj.or.jp ●Eメール minsin@dylj.or.jp

見どころ

第47回全国大会決議 (4~7面)
全国大会 日本共産党志位委員長あいさつ(8~11面)
全国大会 参加者の感想 (12面)

第47回全国大会

2大会連続拡大目標達成！！



11月24~26日、民青同盟は第47回全国大会を開催しました。共青創立100周年を迎えた第46回大会期は、第45回大会期に次ぐ2大会連続の目標達成という素晴らしい大会期となりました。大会では、各地での方針実践に基づく拡大目標達成の報告、変化してきた同盟員の姿、さらに大きな民青をつくりたい決意などが語られました。(今井千尋記者)

全国大会中の大会期累計した都道府県は、北海道、拡大数は2778名とな。岩手、福島、埼玉、東京、第46回大会目標である 神奈川、鳥取、徳島、福岡 2000人を大きく超過達成の9都道府県に加えて、大会成しました。また、277 中に兵庫、長野、愛知の38名は2002年以降の歴史、山形が閉会前に目標史的到達です。目標を達成を達成しました。

方針化され立ち上がり 広がる

1日目は、青年の中に分 会場が大いに沸きました。 けて仲間を迎えてきた 「800名という目標を 役員同盟員の発言が続き、 達成した喜びをかみしめて



▲討議を聞く大会参加者

います」と発言したのは東京都副委員長の佐々木さんです。都同盟は年間拡大目標800人を達成、突破し8228名の仲間を迎え、5年ぶりの目標達成です。昨年590名という30年ぶりの到達を築いた都同盟がなぜさらに高い到達を築けたのか。佐々木さんは、青年の中に分け入って仲間を増やすことが強調点としてはっきりと方針化されたこと、それによって年間を通じて推進でき、同盟拡大への立ち上がりが広がったことを挙げました。都同盟は全ての都委員が加盟に立ち会うことを提起し、約85%が立ち会っています。佐々木さんは「加盟への立ち会いは、今となっては手軽に登れる小高い丘のように近くなった」という都委員の発言を紹介しました。



▲大会への報告を行う西川龍平中央委員長

大阪の北河内地区は、地区の年間拡大目標20人を超え達成し、21名の仲間を迎え、より積極的に加盟を呼びかけられるようになったと話しました。セの実践にこだわり、その中で自分自身が仲間を迎えられる同盟員になったと発言。地区では「15人以上に加盟呼びかけ文を読んでも誘われ、「加盟に立ち会えたらおう」「今日は絶対に複数加盟を勝ち取ろう」と励まし合いながらテーゼを実践してきました。池田さんは、青年に加盟呼びかけ文を読んでもらうと、「民青が青年から求められている」と同時に、加盟に立ち会えることができた。クマタさんの経験を通じて情勢の変化を感じ、「都合のいい日は宣伝に行き、いい日は仲間が増えるという考えにまで発展した」と話し、「皆さんも元気が出るので宣伝に行ってみよう」と会場に呼びかけました。クマタさんは「ここまで成長してこれたのは、ふり返ってみれば自分の中に民青を発展させたという気持ちがあつた」と話しました。(2面へつづく)

多彩な発言が相次ぐ

2日目は、班員、役員、委員のクマタニさんです。新加盟の同盟員など、さまざまな立場から多彩な発言がありました。「自分の中で『宣伝』元気になる』に変わりました」と発言したのは愛知県から

(2面へつづく)